

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2025年2月

フィデリティ・世界割安成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

設定日: 2020年8月21日

信託期間: 原則として無期限

決算日: 原則として毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当ファンドの
紹介ページは
こちらから

■基準価額・純資産総額の推移

	2025/1/31	2024/12/30
基準価額	16,196 円	15,661 円
純資産総額	342.6 億円	333.1 億円
累積投資額	16,196 円	15,661 円

基準価額 (月中)	高値	16,196 円	(1月31日)
	安値	15,470 円	(1月14日)
基準価額 (設定来)	高値	16,544 円	(2024年7月17日)
	安値	9,703 円	(2020年9月25日)
累積投資額 (設定来)	高値	16,544 円	(2024年7月17日)
	安値	9,703 円	(2020年9月25日)

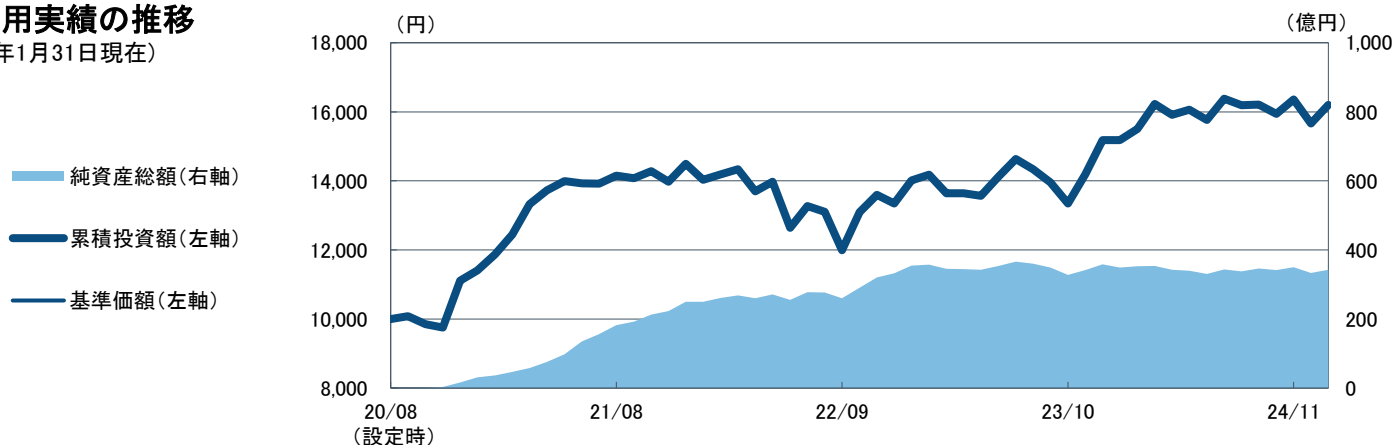
■累積リターン

(2025年1月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.42%	1.63%	-1.12%	6.67%	15.41%	61.96%

■運用実績の推移

(2025年1月31日現在)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2025年1月31日現在)

決算期	日付	分配金
第1期	2020年12月7日	0 円
第2期	2021年12月6日	0 円
第3期	2022年12月6日	0 円
第4期	2023年12月6日	0 円
第5期	2024年12月6日	0 円
設定来累計		0 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2025年2月

フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

設定日:2020年8月21日

信託期間:原則として無期限

決算日:原則として毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■基準価額・純資産総額の推移

	2025/1/31	2024/12/30
基準価額	24,672 円	24,344 円
純資産総額	1,316.4 億円	1,278.0 億円
累積投資額	24,672 円	24,344 円

基準価額 (月中)	高値	24,828 円	(1月23日)
	安値	23,896 円	(1月14日)
基準価額 (設定来)	高値	25,632 円	(2024年7月17日)
	安値	9,674 円	(2020年9月24日)
累積投資額 (設定来)	高値	25,632 円	(2024年7月17日)
	安値	9,674 円	(2020年9月24日)

■累積リターン

(2025年1月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.35%	1.82%	0.88%	14.44%	64.51%	146.72%

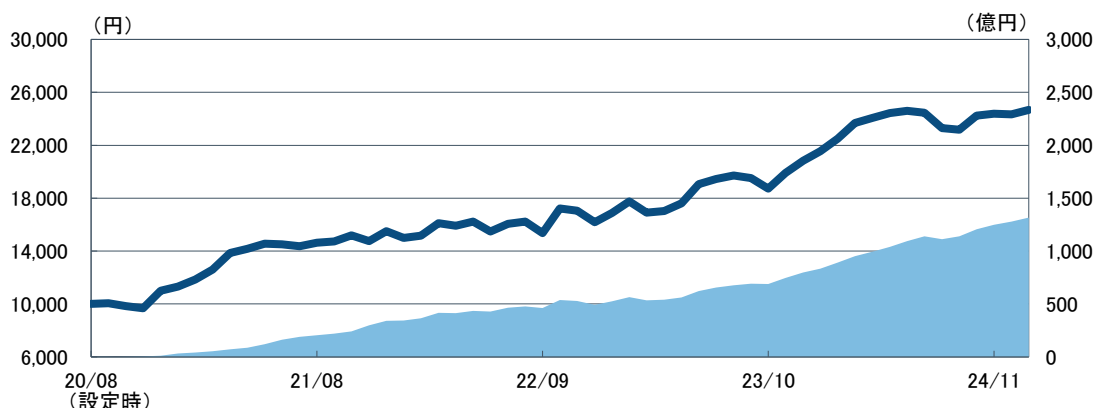
■運用実績の推移

(2025年1月31日現在)

純資産総額(右軸)

累積投資額(左軸)

基準価額(左軸)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2025年1月31日現在)

決算期	日付	分配金
第1期	2020年12月7日	0 円
第2期	2021年12月6日	0 円
第3期	2022年12月6日	0 円
第4期	2023年12月6日	0 円
第5期	2024年12月6日	0 円
設定来累計		0 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2025年2月

■ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

(2025年1月31日現在)

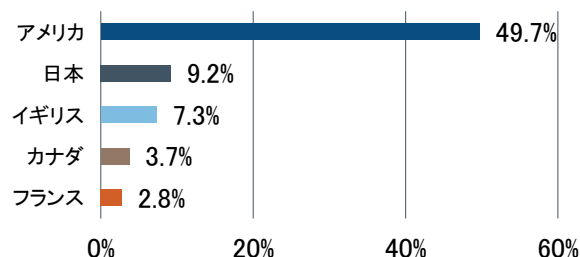
◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 564)

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	1.5%
2	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	1.1%
3	PG&E	アメリカ	公益事業	0.9%
4	アリマントーション・クシュタール	カナダ	生活必需品	0.9%
5	TDシネックス	アメリカ	情報技術	0.7%
6	レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル	アメリカ	金融	0.7%
7	オビンティブ	アメリカ	エネルギー	0.7%
8	トタルエナジーズ	フランス	エネルギー	0.7%
9	スティーフル・フィナンシャル	アメリカ	金融	0.7%
10	ダイレクトライン・インシュアランス・グループ	イギリス	金融	0.7%
上位10銘柄合計				8.8%

◆資産別組入状況

株式	96.5%
投資証券	0.8%
現金・その他	2.7%

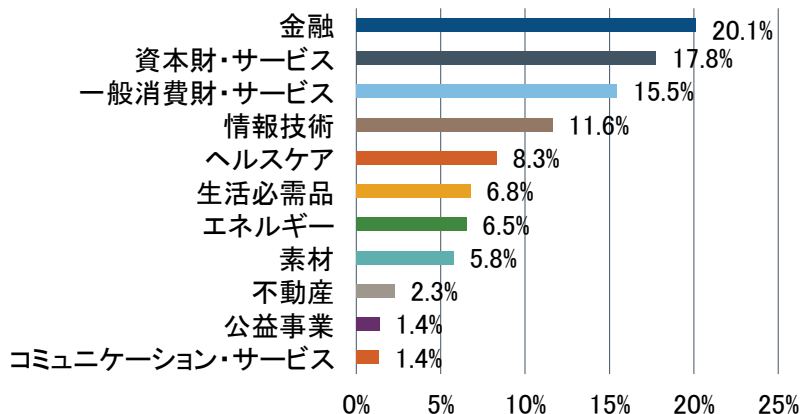
◆組入上位5ヶ国・地域



◆通貨別組入状況

アメリカ・ドル	58.6%
日本・円	9.1%
イギリス・ポンド	8.8%
ユーロ	8.8%
カナダ・ドル	3.7%
その他	11.0%

◆業種別組入状況



(対純資産総額比率)

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

※国・地域は発行国・地域を表示しています。

※業種はMSCI/S&P GICS*のセクターに準じて表示しています。

*MSCI/S&P GICSとは、スタンダード・アンド・プアーズがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard =GICS)です。

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2025年2月

◆(ご参考)ポートフォリオの特性値

(2025年1月31日現在)

	ファンド	(参考指数) MSCIワールド・インデックス
予想株価収益率(倍)	11.8	19.8
株価純資産倍率(倍)	1.8	3.7
1銘柄当たり平均時価総額 (10億米ドル)	26.3	770.0

※FMR Coより提供されるデータをもとにフィデリティ投信が作成しています。

※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

■コメント

(2025年1月31日現在)

◆市場概況

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で+3.48%。

米国ではトランプ大統領の規制緩和や減税への期待と企業業績の成長見通しなどが背景となり、株価は堅調に推移しました。中国の新興企業が低コストで高性能のAIを開発したことを受けて、関連銘柄の株価が一時大きく下げたものの、その他の幅広い銘柄が上昇しました。日本では、米国による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開が見られました。その後、決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、上昇しました。欧州では、英消費者物価指数(CPI)の発表をきっかけにインフレ鈍化が意識され、英欧長期金利の低下を受けて市場は反発しました。また、欧州企業の良好な決算発表が相次いだことや企業業績への期待が高まり、上昇しました。

業種別の騰落率(参考指数ベース)についてはコミュニケーション・サービスや金融などが上昇した一方、情報技術が下落しました。

米ドル／円相場は、約1.47%の円高(1米ドル=157.16円→154.85円)。

ユーロ／円相場は、約1.08%の円高(1ユーロ=162.74円→160.97円)。

(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。)

◆今後の見通し

米国ではインフレ懸念が再燃し、欧州では製造業の低調が続く、中東では地政学リスクの不確実性が高いなど、世界経済の先行きは不透明です。企業収益については世界的に中長期的な成長基調が続くと展望されるものの、株価水準の高さが警戒されます。米国の利下げペースの鈍化も想定されます。株式市場では、慎重に投資先を見極めることが重要です。世界には競争力のある製品やサービス、そして、強固な財務と長期的な成長力を持ちながら、市場では未だ注目されていない企業が数多く存在します。市場が不安定となり、企業の本質的な価値に照らして株価が割安になるときが長期的な投資にとって大きなチャンスとなります。合理的かつ忍耐強く投資することで、長期的な運用の成果を目指す方針です。

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

フィデリティ・世界割安成長株投信
Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)
Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)
追加型投信／内外／株式

ファンドの特色

- 1 フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- 2 企業の長期的な成長力と株価の割安度に着目し、企業の本源的価値を見極める運用を目指します。
- 3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ^{*}」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。
* ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- 4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 5 Aコース(為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
Bコース(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
※ファンドは「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

[運用の委託先]

マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

委託先名称	委託する業務の内容
FIAM LLC(所在地:米国)	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用の指図を行ないます。

投資リスク
基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。
ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
為替変動リスク	Aコース(為替ヘッジあり)は為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース(為替ヘッジなし)は為替ヘッジを行わないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。
エマージング市場に関わるリスク	エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

その他の留意点

クーリング・オフ	ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
流動性リスク	ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要がある場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。
デリバティブ(派生商品)に関する留意点	ファンドは、ヘッジ目的の場合等に限り、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。
分配金に関する留意点	分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。 ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)
Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)
追加型投信／内外／株式

ファンドに係る費用

購入時手数料	ありません。
換金時手数料	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年0.8635%(税抜0.785%)以内 の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
その他費用・手数料	組入有効証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。 法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。
信託財産留保額	ありません。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドに係る費用の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他のファンド概要

基本的性格	追加型投信／内外／株式
信託設定日	2020年8月21日
信託期間	原則として無期限
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。
決算日	原則、毎年12月6日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 収益分配金は、税引き後無手数料で再投資されます。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)
Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)
追加型投信／内外／株式

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
運用の委託先	FIAM LLC(所在地:米国)
販売会社	野村證券株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第142号 【加入協会】日本証券業協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 金融先物取引業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- フィデリティ・世界割安成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)／Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き等の影響(外貨建の資産には為替相場の変動による影響もあります。)により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。